

# 青葉区民文化センター フィリアホール 令和2年度(2020年度)事業報告書

東急コミュニティー・神奈川共立・横浜市民施設協会共同事業体

## 内 容

P1～2	基本報告
添付資料1	利用実績詳細
添付資料2	利用料金収入詳細
P3～4	基本コンセプト総括
P5～6	文化事業総括
(別紙1)	文化事業詳細
P7～8	地域事業総括
(別紙2)	地域事業詳細
P9～10	施設運営総括
P11	施設管理総括
(別紙3)	施設管理詳細
(別紙4)	工事修繕報告
(別紙5)	光熱水費実績

横浜市青葉区民文化センター フィリアホール 令和2年度(2020年)事業基本報告書

1. 施設の概要	施設名	横浜市青葉区民文化センター フィリアホール
	所在地	神奈川県横浜市青葉区青葉台二丁目1番1号
	規 模	ホール:定員500席(1階384席、2階116席)
		リハーサル室:定員80名 練習室1~3:定員各10名
	延床面積	2,796.62㎡
	開館日	平成5年5月1日

2. 指定管理	法人名	東急コミュニティー・神奈川共立・横浜市民施設協会共同事業体	
		代表企業:株式会社東急コミュニティー	
	所在地	神奈川県横浜市青葉区青葉台二丁目1番1号	
	代表者	代表企業:株式会社東急コミュニティー 代表取締役 雑賀 克英	
	設立年月日	第2期指定管理期間 平成30年4月1日	
	指定期間	平成30年4月1日から令和5年3月31日まで	

3. 人員配置	要 員	人数	共同事業体所属会社
	館 長	1名	東急コミュニティー
	貸館業務責任者	1名	東急コミュニティー
	受付業務責任者	1名	東急コミュニティー
	管理運営責任者	1名	東急コミュニティー
	文化事業コーディネーター	1名	東急コミュニティー
	地域コーディネーター	1名	横浜市民施設協会
	会計担当者・事務担当者	2名	東急コミュニティー
	舞台管理スタッフ	3名	神 奈 川 共 立

4. 事業実績

(1)年間利用者数 30,174名 年間開館日数：295日  
 対前年△47,816名 ※4～5月コロナ感染緊急事態宣言による休館

(2)施設利用実績 (注)利用実績には貸館及び自主共催利用を含む

施設種別	利用可能数 (コマ)	実績利用数 (コマ)	利用率 (%)	利用者数 (名)	備考・コメント
ホール	1,038	496	47.8%	17,634名	2か月の休館、緊急事態の再宣言、更にまん延防止措置等の利用制限と人数制限あり。
リハーサル室	1,730	1,022	59.1%	6,967名	
練習室1	1,730	1,072	62.0%	1,786名	
練習室2	1,730	1,073	62.0%	1,888名	
練習室3	1,730	1,032	59.7%	1,899名	
合 計	7,958	4,695	59.0%	30,174名	

※詳細利用状況は、添付資料1参照

(3)自主事業実施総数

区 分	開催数	来場者数	延期等	
主催公演(コンサート系)	10	2,395名	11	完全中止は2本
主催公演(E&C系)	10	1,650名	5	海外アーティスト関係4本中止
共 催 公 演	1	700名	7	大半は次年度延期
合 計	21	4,745名	23	

5. 委託収支状況

【収入の部】(税込) ※(注)増減:「決算」-「予算」にて算出

項目	予算額	決算額	増減	執行率
指定管理料収入	151,948,000円	151,948,000円	0円	100.0%
施設利用料収入	26,950,000円	16,597,200円	10,352,800円	61.6%
自主事業収入	52,895,000円	17,486,531円	35,408,469円	33.1%
休館期間運営支援		4,177,000円	△ 4,177,000円	
利用再開後運営支援		7,482,897円	△ 7,482,897円	
その他雑収入	4,664,000円	3,132,524円	1,531,476円	67.2%
合計	236,457,000円	200,824,152円	35,632,848円	84.9%

※施設利用料の詳細は、添付資料②参照

【支出の部】(税抜) ※(注)増減:執行率に併せ、「予算」-「決算」にて算出

項目	予算額	決算額	増減	執行率
人件費	86,494,000円	86,494,000円	0円	100.0%
事務費	10,476,000円	9,577,756円	898,244円	91.4%
旅費	2,479,000円	2,119,848円	359,152円	85.5%
消耗品費	1,278,000円	974,875円	303,125円	76.3%
印刷製本費	705,000円	499,950円	205,050円	70.9%
通信費	2,208,000円	2,958,535円	△ 750,535円	134.0%
備品購入費	650,000円	262,900円	387,100円	40.4%
図書購入費	31,000円	20,885円	10,115円	67.4%
施設賠償保険	96,000円	38,470円	57,530円	40.1%
リース料	2,429,000円	2,505,670円	△ 76,670円	103.2%
手数料	600,000円	196,623円	403,377円	32.8%
事業費	60,879,000円	29,205,968円	31,673,032円	48.0%
管理費	56,991,000円	57,158,732円	△ 167,732円	100.3%
光熱水費	8,890,000円	6,979,132円	1,910,868円	78.5%
清掃費	3,155,000円	3,102,000円	53,000円	98.3%
修繕費	3,000,000円	5,024,600円	△ 2,024,600円	167.5%
設備保全費	3,546,000円	3,653,000円	△ 107,000円	103.0%
共益費	38,400,000円	38,400,000円	0円	100.0%
公租公課	13,688,000円	10,434,800円	3,253,200円	76.2%
消費税	13,628,000円	10,390,000円	3,238,000円	76.2%
印紙税	60,000円	44,800円	15,200円	74.7%
事務経費	7,929,000円	7,952,896円	△ 23,896円	100.3%
本部分	6,881,000円	6,881,000円	0円	100.0%
当該施設分	1,048,000円	1,071,896円	△ 23,896円	102.3%
合計	236,457,000円	200,824,152円	35,632,848円	84.9%

【収支】 (税込) ※(注)増減:「予算」-「決算」にて算出

合計	0円	0円	0円
----	----	----	----

## ●第2期3年目(令和2年・2020年度)の基本方針 総括

### 令和2年度(2020年)の計画の確認

(再確認) 第2期の青葉区民文化センターフィリアホールの基本コンセプト(提案企画書より抜粋)

#### “フィリアホール”と“青葉区民文化センター”の二つの顔で～“地域を『繋げる』フィリアホール”～

「文化発信、発表の場を提供するフィリアホールの顔」と「地域連携、協働する青葉区民文化センターの顔」の「二つの顔」を理想として、第1期実績を発展拡大し、区民文化センターに求められる役割を認識し、確実に成果を上げることを目指す。

##### ◎フィリアホールとしての文化事業活動:提案時コンセプト

『文化事業は、「コンサート・シリーズ」と「エデュケーション&コミュニティ・プログラム」の二軸で』

「コンサート・シリーズ」は定着したシリーズを継承し、世界レベルの高品質な芸術を提供し、地域が誇る文化発信拠点を目指す。

そして「エデュケーション&コミュニティ・プログラム」は、アカデミー系プログラムと幼児・ファミリー向け企画や区民のニーズに沿った地域密着型企画を実施。

##### ◎青葉区民文化センターとしての、地域コミュニティ・文化的モモンズ形成の活動:提案時コンセプト

『文化的モモンズ形成への取り組み方針』

地域の課題と向き合い、ニーズを捉え、様々な人々とのネットワークを作り、それを繋げ、音楽で地域を繋げる＝文化的モモンズ形成の牽引役を果たしてまいります。事業の展開とともに、地域の「協働する人財」の育成にも取り組む。

●キーワードは「ふれあう」「支える」「活動する」「集う」

##### ◎施設運営の基本的考え方:提案時コンセプト

「人財」「施設」「収支」「情報」の4つの柱を運営の軸とし、文化発信拠点として地域の絆をつなげる役割を果たす。

##### ◎令和2年度(2020年)の位置付け

令和2年(2020年)は、初年度・2年目の実績を踏まえ、より安定した施設の運営・事業の計画、展開を図ります。

主要となる自主文化事業は、事業基盤の安定確立のため、企画から券売、実施までの推進体制・販促広報の手法を定着。施設利用促進と安定稼働と併せて、「確実な収益」の確保、安定化を目指す。

地域事業、協働企画は、基礎は出来つつあり、今年度はさらに発展充実させ、地域連携・地域共同における今後の指針となる体制固めをしていきます。二つの顔の基盤を確立し、今後にもつながる青葉区民文化センターを確立させる年にする。

##### ●鑑賞型事業「コンサートシリーズ」

今年度も自主シリーズ公演20本程度、共催10本程度で実施。開催時期も考慮し、適宜適切な広報により、事業収支の安定化を目指す。「フィリアホール」らしい、高品質なプログラムを充実させ、魅力ある文化事業の発信・充実を図る。販促広報は早めの対応を心がけ、マス媒体の活用等、多くの方にフィリアホールのコンサートの素晴らしさを伝え、より多くの方が文化に触れていただける手法を確立させる。HPやSNSでは、効果的に公演の魅力を訴求する内容を考えていく。

##### ●「エデュケーション&コミュニティ・プログラム」

エデュケーションプログラムではアカデミー系プログラムを充実させ、聴いて学べるコンサートを展開、「生涯学習講座」的視点の付加も模索。若手育成・支援も、2年目実施の育成事業のように、単なる場の提供だけではなく、出演者自らが「企画や集客」等の運営面も加味したプログラムを展開。コミュニティプログラムでは夏冬のファミリーコンサートは改めて内容の検討を行います。幼児向けプログラムやオープンデーでは、「マンネリ」にならぬよう、内容を吟味したより良い企画で満足度を上げるようにする。

##### ●地域コミュニティ形成事業

二期目からの区民企画は、2年間の実績を基礎に、更なる発展・充実・実施のための施設からの支援強化を図り、区民との「協働型」地域連携事業を行う。地域施設との「ネットワーク」を発展拡大させ、様々な施設との連携によるアウトリーチや事業協力を実施。地域ニーズを踏まえ、それに応え、音楽で地域を繋ぐ事業体制を定着させる。アーティストの紹介だけではなく、費用負担も含めた企画提案も積極的に行って、地域の色々な場所で、気軽に音楽を楽しめる場を提供していきたい。

##### ●施設利用・施設運営

利用促進は、空き室広報(HPやロビー掲示)の継承とともに、利用目的の柔軟化、一時利用対応等での稼働促進も引き続き対応。区民企画・地域連携や若手育成事業でのリハ室・練習室利用も増加していくと思われ、より地域に開かれた施設利用を進めていく。運営面では、ご利用人数の正確な把握のため始めた、ご利用者からの申告確認は継続。利用申告用紙を利用して、ご意見ご要望を収集するためのご意見欄を設けているが、再度趣旨をお伝えし、より多くのご意見ご要望を受け取る努力をする。日常的に「ご意見要望」を聴き、皆様の期待に副える運営を目指す。

##### ●施設管理面

日常保守はもちろん、経年劣化の増加による適宜修繕を実施。取替交換が必要な場合も多くなり、費用を有効的に使用して、「安心安全快適」な施設環境を維持。2022年の天井工事の基本設計が始まり、現状調査も実施。光熱水費は、経済状況による単価変動はあるが、LED化の推進、日常的な「節電」「節水」に心がける。

## 令和2年度(2020年)の全体総括

※令和2年度は、一年間を通して「新型コロナウイルス感染」の影響があり、休館・開館時間制限・入館者・利用者数の制限・基本的な感染対策等により、通常の運営・諸活動は完全にできない一年となってしまいました。以下に全体総括を行います。すべての事業を通して影響が大きく、最終的には、横浜市からの補填金が出ることになり収支損益の赤字分はすべて補填されました。

令和元年度最後の3月から始まる「新型コロナウイルス」感染拡大による影響は、非常に大きく、年度を通して、通常の運営活動はほとんどできませんでした。年度当初の緊急事態宣言発出以降の休館2か月を経て、利用再開後も入場者数制限があり、下期になって、クラシックコンサートなどの入場制限緩和が出されて以降、少しずつコンサートの実施を開始しています。開館時間も多くの期間で20時閉館となり、入居する青葉台東急スクエアが通年を通して20時閉館となったことと併せて、夜の時間帯の利用減が続きました。

その中でも、ホール利用は夏以降はコロナを心配してのキャンセルは減り、リハーサル室・練習室は昼間帯の利用は9割近くの稼働になっています。ただホールでの発表会などは来場人数を縮小させるなど、ご利用者の負担も大きくなっていました。

自主事業は、入場制限緩和後もご来場者側の意識もまだまだ警戒感が強く、完全な復活には至りませんでした。各事業総括は事業ごとに記載しますが、年度を通して「感染防止対策」と共存する中で、「今やれるやり方」を考え、より良い方法を模索しながら、実施する一年となりました。

・「コンサートシリーズ」は、予定した公演の半分以上が中止又は次年度への延期となりました。前年度3月に中止となった3公演は今年度も実施ができませんでした。海外アーティストの来日が可能となったのは1本しかなく、ニューイヤー公演は急遽代役の室内楽を編成しての実施となっています。詳しくは、文化事業の総括にて報告します。

「エデュケーション&コミュニティ」でも、アカデミー系企画では海外アーティストを除く4本を実施。うち1本は昨年2月末に実施できなかったドリームコンサートの振替です。ウインドクリニックは早々と中止を決めました。ファミリー、幼児向け企画では、夏のオープンデー・ファミリーコンサートが中止に、冬のファミリーコンサートは入場制限による開催。プチコンサートなどは3月に入って「何かやろう」という意識の中で1本幼児向けを実施し、ロビーコンサートは地域への還元策として実施しました。

自主事業は中止延期の連絡と返金対応に追われる一年となりました。開催公演では、消毒・検温・チケット確認・プログラム配布等を感染防止対策を徹底する中、いかにスムーズにかつ効率的に対応し、来場者に負担をかけない方式の模索を繰り返しました。

・地域コミュニティ形成・地域事業は、区民企画は1本のみ実施。2回目の実施となったこの企画は、その後企画者が自主的に毎月同様の企画を開催し、完全に自立した形になりました。地区センターなどの地域施設との連携もなかなか実施のめどが立たず、後半は「動画配信」等による実施という新たな試みに挑戦しました。区民のボランティアによる実施企画者とケアプラザとの連携企画で3月恒例のあおばカノン開催日の変更しながらも2月に開催し、フィリアホールと他の会場でのパブリックビューイングを繋ぐ企画で、フィリア初のライブ動画配信が実現しました。地域連携の事業では、横浜市民施設協会とのコラボレーション企画が進みました。区民サポーターの活動は休止しています。コロナ禍でも、各種事業を継続していきたいという考え方で、安心安全な開催方法を模索していく一年でした。

・施設運営では、休館・夜間の利用自粛要請・利用料返金などの対応で終始した年になりました。ただ、ご利用者からクレームになった事例はほとんどなく、利用再開後は順調に昼間の利用が復活してくれています。換気、距離を空けての利用、合唱などのマスク対応等、ご利用者は感染防止対策に十分な協力をして頂きました。コロナ関連で自粛要請をする中で、多くの利用者が定期的に月数回利用していることを改めて実感できました。冒頭にも記したように、フィリアホールでの発表会やコンサートを楽しみにしていた利用者にとっては、来場者を制限し、感染対策に取り組みながらの開催となりましたが、「フィリアホール」で出来ることを喜んでいただけました。リハーサル室・練習室のご利用者も、色々な制約の中でも「利用復活」ができたことを安堵されています。

・当日利用人数を申告してもらう方法はほぼ定着しているものの、フィリアホールの利用者はほぼ常連が多くなっており、利用人数の申告が段々薄れてきているのも事実です。申告用紙の裏面を利用して、ご意見ご要望欄はこの一年ほとんど記載がありませんでした。今後新たな方法も検討する時期だと感じます。

・施設管理面では、日常点検・維持管理で大きな問題は出ていませんが、経年劣化による不具合発生がおおくなり、モニターなどの交換修理が開始しています。ホールのグランドピアノも、スタインウェイ1号機は劣化が激しくなっていると報告されています。修繕工事では、ホール稼働の低い時期に舞台用のオーケストラ椅子の座面等の貼替を実施。法定更新による電気水道メーターの更新などが重なり、予算は大幅に超えての支出となりましたが、光熱水費が休館や夜間利用減に伴い大幅に軽減した分で帳尻を合せました。2022年の天井改修工事のための「基本設計」を完了させています。

## 1. 令和2年度文化事業の活動

### 1. 文化事業活動の基本方針

今年度も、フィリアホールの顔らしい上質な音楽発信と地域密着型企画を展開。コンサートシリーズは2年間の実績の下、より安定した事業運営を心がける。エデュケーション&コミュニティでは、アカデミープログラムの充実、幼児向けやファミリー向け企画のブラッシュアップを図る。若手育成企画も新たな展開を充実させて実施。

### 2. コンサート・シリーズ

フィリアホールが市内を代表する文化拠点との自覚を持ち、ブランドを維持し、区民ニーズに応えた地域が誇れるホールを目指す。高品質な文化芸術鑑賞機会を提供するコンサートシリーズでは、媒体を活用した広範囲への販促告知を実施し、加えてクラシック音楽へのハードルを高く感じている層を含めた幅広い顧客向けに、会報誌や地域への広報などを通してアプローチしていく。

○2020年度の主なシリーズの概要

#### 《女神との出逢い》シリーズ

フィリアホールのメインシリーズ。今年度は8本を予定。仲道郁代(P)、三浦友理枝(P)、千住真理子(Vn)、村治佳織(G)、海外からアンヌ・ケフェレック(P)。若手の女神達に、南紫音(Vn)、松田理奈・新倉瞳・岡田奏のトリオが、定評あるアーティストで集客を見込む。

《ただひとつの世界》シリーズは世界最高峰のアーティストによるホールブランドイメージを高める企画。年間1本に絞り、正統派ピアニストの重鎮、ゲルハルト・オピッツが登場。フィリアホールならではの最高峰の音楽をお届けする。

《ランチシリーズ》は平日の昼に気軽に上質な音楽に触れるコンサート。毎年6本を開催、色々な「音色」を楽しめる企画。今年度も、多彩なジャンルで楽しさを感じてもらう内容に。

《ハイムコンツェルトシリーズ》は国内外の優れた室内楽団によるコンサート。

今回は《変革の四重奏(クアルテット)》のタイトルで2つの団体を紹介。

《ニューイヤーコンサート》ではソプラノの森麻季と古楽器オーケストラのイル・ポモドールの饗宴。ピリオド楽器の名手たちとソプラノのコラボレーションは、新たな年明けを華麗に彩る企画。

《特別企画》として、他館との連携公演で実施するコンスタンチン・リフシツによる公演。他館との連携企画で、首都圏8館との連携。ベートヴェンソナタ全曲演奏の巨大プロジェクト。

### 3. エデュケーション&コミュニティ・プログラム

エデュケーションプログラムでは、アカデミープログラムの一流演奏者によるマスタークラス企画、小さいお子様と家族向けの企画、そしてコミュニティ形成にかかわる地域密着型企画の3つの軸をベースにプログラムを実施。若手音楽家育成も新たな展開により充実させる。音楽を通じてコミュニティにつながる企画を考える。

○2020年度の主なシリーズの概要

「ミュージックアカデミー・プログラム」は、音楽を学ぶ優れた才能を応援し、あるいは生涯にわたって音楽を楽しんでいくためのより深い「学び」を提供するマスタークラスやレクチャーコンサートを企画。今年は多彩な内容による充実した企画を実施する。

今年のマスタークラスやレクチャー系プログラムでは、定番の企画は例年通り開催。カリスマチェリストのワークショップ、サクソフォンのマスタークラス。ヴァイオリン前橋汀子氏や「アイルランドの音楽」を紹介するトーク&コンサートを企画。中高校生向けの「ウィンドアンサンブルクリニック」を開催。「室内楽アカデミア(ドリームコンサート)」で若手発掘にも取り組みます。

「キッズ&ファミリー・プログラム」では、子どもの感性育成に役立つ機会を提供する一方で、保護者層に子どもとの思い出になる時間を提供。若手アーティストを積極的に起用し発表の場として活用。夏冬のファミリーコンサートやオープンデーも含めて、企画内容を再度吟味し、ご来場の方にとって、楽しく喜ばれる企画を展開する。

「地域コミュニティ・プログラム」では、区民提案型企画を今年度も公募。区民が立案・実施する地域のニーズや課題を意識した地域密着型企画です。中身を発展充実させ、青葉区民文化センターとの協働、地域人材育成のプログラム展開を図りたい。

「フィリア・ジュニア合唱団」は、今年も新入団の地域の小中学生で結成され、運営委員の活動も定着し、引き続き「区民によって企画運営する」活動としてサポートする。各種のアウトリーチ活動も積極的に進めていく。

「横浜市芸術文化教育プラットフォーム事業」による小中学校へのアウトリーチ活動を引き続き継続。加えて、「地域諸施設へのアウトリーチ活動や提携企画」も発展拡大し、費用負担も含め積極的に各施設への企画提案も充実させる。

### 4. 国内・地域で活動する優れた音楽団体との共催事業の実施

国内外の優れたアーティストによるリサイタル、地域のオーケストラ公演など年間20本程度実施。従来のネットワークを生かし、ホール主催では実現が難しい幅広いジャンルの文化芸術を提供。従来貸館で実施してきた優良公演も積極的にサポート。若手発掘という観点から、各種のコンクールとも連携。

## 『令和2年度(2020年)文化事業の全体総括』

・文化事業詳細実績等は(別紙1)公演内容詳細にて報告

### ◎コンサートシリーズ

- ・全体を通じて新型コロナウイルス感染拡大の影響が直撃し、上期はエデュケーション&コミュニティ・プログラムの1本(「ほのカルテット」)のみ実施。下期からは、入場制限による販売数調整や来場時の感染対策等を徹底した上で、徐々に開催を再開しました。しかし海外からの出演者来日は難しく、共催を含め海外からの来日アーティスト出演公演は「ただひとつの世界」シリーズ1本のみとなり、他はすべて中止又は次年度延期となりました。また、昨年度末3月に予定していた公演の延期振替公演も、3本が再延期となりました。お客様も、当初は感染への不安からチケット購入を控える方や、空席可否の不安をおっしゃる方などが多くおりました。厳しい状況の中だからこそ上質な文化芸術を区民に届けたい、という目標のもと、できる限り中止ではなく延期で調整し、可能な限りの自主事業を粛々と実施しました。
- ・中止・次年度延期となった公演のチケットは、すべて払戻しの対応を行い、購入者すべてに中止のご案内と返金方法、必要書類などを郵送、回収し、その後振込作業を実施しました。開催した公演でもご来場されなかった方には返金できる旨連絡し対応しましたが、年度決算上は未対応で、残ったチケット収入は一旦収入に計上しました。その後、お問合せ又は返金希望の意思表示をされた方には、2021年3月末までに開催した公演分については、個別に返金をしております。
- ・公演中止・延期への対応は、購入者全員への連絡・返信・そして返金処理等の対応に追われていましたが、すぐにスタッフ間でシステムチックに流れ作業的に対応ができるようなマニュアル整備が進みました。この経験は今後も十分に対応できるものにもなっており、別の意味で、イレギュラー対応には如何にシステムチックに作業していくかを考えることができる体制を構築できました。
- ・公演開催可否や入場制限状況等が直前になるまでわからない状況となり、マス媒体を使った販促広報策は非常に困難でした。ホールメンバーズ会員へのDM案内は継続しましたが、メンバーズ先行予約中に公演中止が決定するケースが複数出たことから、年間を通して先行予約サービスを休止。感染不安でチケットを買い控える方も多く、販売は十分な状況にはなりませんでした。
- ・共催公演は、海外アーティストがほとんどのため、6本が中止。唯一国内アーティストの未出演する「横浜シンフォニエッタ」公演のみが実施。主催者側で内容を変更し、公演1本につき最大観客150名程度に限定した上で、昼・夜2回を3日間・全6公演開催というスケジュールでの開催を実現しました。

### ◎エデュケーション&コミュニティ・プログラム(E&C)

- ・2020年度も当初は新規企画と定番の企画を織り交ぜた計画でしたが、半分以上が中止となりました。コンサート・シリーズも含めて、上期唯一開催となった「未来に繋ぐ室内楽」シリーズ公演(ほのカルテット)を7月に開催。緊急事態宣言明け間もない時期ということで、告知・販促が非常に厳しい状況で、集客も100名程と少数になりました。しかしながらコロナ禍の中初の自主公演開催で、消毒やご案内、検温などの手順の確認が確立されました。下期に入り、2月から延期した「ドリームコンサート」振替公演や「白熱教室」などから実施再開。12月には何とか規模縮小したクリスマスファミリーコンサート等を実施しました。継続してきた「ドリームコンサート」新年度分も、順調にオーディションから対応を行い無事に開催。「ジュニア合唱団」は合唱形態で練習が困難な状況が続いたことから、関係者のみの発表会形式で開催しました。今年度のE&Cプログラムは、すべて200人程度の来場者でした。
  - ・若手音楽家育成企画は、「若手インキュベーション・プログラム」企画の公募採択を引き続き実施する予定でしたが、新型コロナの影響で開催を見送りました。一方で、同企画参加者やこれまで主催公演に出演したアーティストが各所の助成金申請対象となる公演をフィリアホールで開催したため、開催や動画配信について相談・アドバイスを行いました。その際も「プチ・コンサート」や地域連携事業などで、活動が減った若手音楽家にも積極的に声をかけ、演奏の場を提供できるようにしました。
  - ・地域課題を意識したコミュニティ形成に係る各種企画は、ほとんど実施ができませんでした。夏のファミリーやオープンデーは中止とし、冬ファミリーコンサートは、内容を縮小し、何とか開催することができました。幼児・お母さん向けのプチコンサート企画は、3月に1本だけ開催。ワークショップ形式は開催できず、その変形版として「地域に届け!!ロビーコンサート」を開催。少しでも地域に音楽を届けたいという思いで実施しました。
- ※地域コミュニティ関連の詳細は、「地域事業総括」にて記載します。

## (別紙1) 令和2年度(2020年)自主事業 公演内容詳細

文化事業 コンサートシリーズ						
No	出演者・公演名	※回数表示はシリーズの通算回数	開催日	状況	入場者数	コメント
土曜ソワレシリーズ 《女神との出逢い》						
1	第290回 アンヌ・ケフェレック ピアノ・リサイタル		7/11(土)	次年度延期	-	4・5月開催予定だった「仲道」「村治」公演は11・12月に延期し無事終了。ともに入場者数400名以上見込みだったが、再販売が伸びず最終入場者数は半数程度に。「ケフェレック」は出演者の来日が叶わず次年度に延期。9月「南紫音」は、既販売数と入場制限の振替対応ができず、招聘元と協議の上次年度に延期。11月「千住真理子」も、座席制限の上販売せざるを得ない時期が長く、集客は制限時期だった。2～3月の公演も、販売が緊急事態宣言をはさんだため伸びが少なく、半数程度となった。「三浦友理枝」公演は出演者の都合により延期。
2	第291回 南 紫音 ヴァイオリン・リサイタル		9/26(土)	次年度延期	-	
3	第290回 千住真理子 J.S.バッハ無伴奏ヴァイオリン作品全曲演奏会		11/21(土)	開催	198	
4	第288回 仲道郁代「シューマン300日の物語」第2回 ※4/3からの振替公演		11/23(月)	開催	193	
5	第289回 村治佳織 ギター・リサイタル ※5/16からの延期振替		12/26(土)	開催	277	
6	第293回 仲道郁代「シューマン300日の物語」第3回		2/6(土)	開催	225	
7	第294回 松田理奈・新倉瞳・岡田奏トリオ		3/20(土)	開催	253	
8	三浦友理枝 ドビュッシー:ピアノ作品全曲演奏会 第2回(全3回)		12/19(土)	中止	-	
JUST ONE WORLDシリーズ 《ただ一つの世界》						
1	第15回 ゲルハルト・オピッツ ピアノ		12/8(火)	開催	272	年間通じて唯一、外国人アーティストで来日および開催が実現。感染再拡大時期だったこともあり集客は半分程度。
ウィークデーコンサートシリーズ 《らんらんランチにいい音楽》						
1	第64回 アレッサンドロ・カルボナーレ クラリネット		4/2(木)	中止	-	「カルボナーレ」「ディラ」は出演者の来日が叶わず中止および延期決定。7月「川口成彦」は既販売数と入場制限の振替対応ができず、出演者と協議の上、次年度に延期。3月から延期した「岡本侑也」も同様に既販売数が超過し、次年度で再延期を調整。12月以降の3公演は開催し、「平田耕治」は半分を超えたが、2～3月の公演は緊急事態宣言をはさんだ最終の伸びが少なく、半数程度となった。
2	第65回 川口成彦 フォルテピアノ		7/16(木)	次年度延期	-	
3	第63回 岡本侑也 チェロ ※3/11の延期振替公演		8/6(木)	次年度再延期	-	
4	第66回 マルツィン・ディラ ギター		9/14(月)	次年度延期	-	
5	第67回 平田耕治 バンドネオン		12/24(木)	開催	350	
6	第68回 池松宏 & 早川りさこ コントラバス & ハープ		2/8(月)	開催	161	
	第69回 加来徹 バリトン		3/11(木)	開催	200	
トーク&コンサートシリーズ【マイ・フィールド】《私の人生、私の音楽》						
1	第8回 舘野泉「北欧の地に生きて」 ※3/27の延期振替公演		9/12(土)	次年度再延期	-	出演者の来日は可能だったが、既販売数と入場制限数とで調査がつかず、招聘元と協議の上、次年度に再延期。
連携						
1	コンスタンチン・リフシツ「ベートーヴェンへの旅」		4/25(土)	次年度延期	-	来日できず、次年度に延期。
神奈川フィルの名手による室内楽シリーズ《名曲の午後》						
1	第13回「ベートーヴェンの『大公』」		6/12(金)	次年度延期	-	出演者(神奈川フィル)からの申し出により、コロナ過での開催は共催も含めて断念。
ニューイヤー・ガラ2021						
1	森麻季と日本を代表する名手たちによるニューイヤー・コンサート		1/16(土)	開催	256	イタリアの古楽器合奏団との共演予定だったが来日できず、急遽N響メンバーの室内楽編成に内容を変更して開催。
特別 (当初は青葉区制25周年記念コンサート)						
1	千住真理子 イザイ無伴奏ヴァイオリン・ソナタ全曲演奏会 ※3/7の延期振替公演		8/9(日)	次年度再延期	-	区制記念公演からの振替だったが、既販売数と入場制限の振替対応ができず、再度次年度に延期決定。

## 文化事業 エデュケーション・アカデミープログラム

No	出演者・公演名	※回数表示はシリーズの通算回数	開催日	入場者数	入場券数	
ミュージックアカデミー・プログラム						
1	ジョヴァンニ・ソツリマ 無伴奏チェロ・リサイタル ※2/20に振替		5/13(水)	中止	-	「ソツリマ」は出演者の来日が叶わず5月から2月に変更したが、振替後も来日できず、やむなく中止決定。ハバネラサクソフォン・カルテットも来日できず、出演者の要望により中止。12月「アヌーナ」も来日できず。「ほのカルテット」は客席制限の中で開催を決定し、既購入者は座席の移動を依頼した。「白熱教室」も例年の半分以下の集客だったが、それでも当日の投げ銭は大きな反響があった。「前橋汀子」も十分な販促広報は出来ず。「ドリームコンサート」は、2月からの振替と今年度分の2公演を無事開催。
2	山崎伸子プロデュース 輝く若手演奏家による「未来に繋ぐ室内楽」Vol.5 ほのカルテット		7/22(水)	開催	93	
3	マエストロの白熱教室2020～指揮者・広上淳一の音楽道場		10/4(日)	開催	190	
4	未来にはばたくドリームコンサート2020(2/29延期振替公演)		10/11(日)	開催	139	
5	ハバネラサクソフォンカルテット & ブルーオーロラサクソフォンカルテット八重奏コンサート		10/24(土)	中止	-	
6	前橋汀子カルテット		11/27(金)	開催	181	
7	アヌーナ(ケルティック・コーラス)		12/2(水)	中止	-	
8	未来にはばたくドリームコンサート2021		2/27(土)	開催	193	
キッズ & ファミリー・プログラム … 個別詳細は地域事業報告にて						
1	夏休みファミリー・オーケストラ・コンサート2020		8/8(土)	中止	-	ファミリーコンサートは、8月は感染予防に配慮して中止。冬は出演者も小編成にし、人数制限等での開催とした。
2	親子のためのワンダー・キンダー・クリスマス・コンサート2020		12/12(土)	開催	397	プチ・コンサート等幼児向けプログラムは唯一3月に1本実施。
3	0歳からのキッズのためのプチ・コンサート		3/18(木)	開催	123	



地域コミュニティ・プログラム ……個別詳細は地域事業報告にて				
1	フィリアホール・オープンデー2020	8/7(金)	中止	- 感染リスクが高いイベントのため中止
2	地域に届け!ロビーコンサート プリマステラ(マリンパデュオ)	3/18(木)	開催	56 ワークショップの変形・地域に音楽をテーマに
3	あおばカノン2021	2/20(土)	開催	225 1部105名・2部120名。2部は外部2か所を結んでライブ配信実施。
4	フィリア・ジュニア合唱団コンサート(発表会)	3/27(土)	開催	53 来場は関係者のみでの発表会形式で開催
5				
若手演奏家インキュベーション・プログラム2020年度採択企画				
1				若手インキュベーションは開催無し

共催公演				
神奈川フィルの名手による室内楽シリーズ《名曲の午後》 共催公演				
1	第15回「ベートーヴェンの『幽霊』」	9/9(水)	次年度延期	次年度延期 主催者(神奈川フィル)からの申し出により、コロナ過での開催はホール主催(「大公」)も含めて断念。
横浜シンフォニエッタ				
1	横浜シンフォニエッタ祭り(3日間で計5公演開催)	11月8日(日)~10日(火)	開催	約700 大幅に内容を変更し3日5公演で開催。主催者が全て電子チケット制で販売、1公演約150席まで座席を絞った。人気ピアニスト藤田真央が出演した2公演は完売。
その他共催				
1	アルベナ・ダナイローヴァ ヴァイオリン・リサイタル	5/23(土)	次年度延期	- 予定の公演はすべて出演者の来日が叶わなかったか、主催者の要望により中止又は延期。
2	ブラハ・チェロ・カルテット	6/30(火)	次年度延期	
3	シャルル・リシャール=アムラン ピアノ・リサイタル	9/3(木)	次年度延期	
4	ARCUS 第11回演奏会「ビフォーアフター“ベートーヴェン”」	9/5(土)	次年度延期	
5	ベルリン・コンツェルトハウス室内オーケストラ	10/31(土)	中止	
6	Concert for KIDS〜0才からのクラシック®〜	3/6(土)	中止	

アウトリーチ活動			
〈横浜市芸術文化教育プラットフォーム 学校訪問事業〉			
1	さつきが丘小学校 おとみつく	9/10(木) 11/6(金) 11/25(火)	学校別の詳細は地域事業報告にて 学校と事前に綿密な打ち合わせを行い、訪問アーティストも交えて、趣旨目標を明確にした上での実施を心がけた。プロの演奏を生で身近に聞くことでの経験はもちろん、音楽を身近に感じてその楽しさや音楽への関心などを高めてもらえるように考えて実施した。
2	山内小学校 サックスカルテット	12/14(月)	
3	美しが丘東小学校 ハッピーターン(打楽器)	11/10(火)	
〈地域連携に係るアウトリーチ〉			
青葉台東急スクエア1階アトリウムコンサート		商業施設内ということで、アトリウムコンサート等東急スクエアとの連携イベントはすべて見送り。	
他施設連携でのアウトリーチ(出演者コーディネート等)			
1	ケアプラザ:	他施設へのアウトリーチの詳細は地域事業報告にて。 地区センター・ケアプラザなどでのコンサート展開。動画配信なども活用	
2	地区センター等:		

その他特別協力		
1	TSUKEMEN LIVE 2020	TSUKEMENは今年も開催。神奈川音楽コンクールの5月は中止となったが、その他各種コンクール等は開催できたものへの協力(フレッシュ横浜)、新規にパッサコンクール。
2		

II. 令和2年度 地域コミュニティの形成・社会的包摂推進への活動

1. 地域コミュニティ形成への基本方針

「青葉区民文化センターの顔」の活動は、2年間で、基礎的な体制は出来ている。経験、課題、ネットワークと地域人財を活用し、今年度も、より充実発展した活動を目指す。今後につながる基盤づくり、基礎固めをする年度にする。「音楽芸術」というアイテムを使いながら、「ふれあう」「支える」「活動する」「集う」場をより多く提供することを目標に掲げ、「地域連携」を明確な柱として、まさに区民と協働した運営活動を目指す。

文化事業と連動したエデュケーション&コミュニティプログラム。地域連携・協働型企画では、区民企画の募集実施、地域人財の育成、地域施設や団体との連携協働企画などを実施。若手音楽家育成の視点も取り入れた企画も随時実施。

1. 地域活動で目指す課題の設定

地域活動をするにあたっては、地域の様々な課題へのアプローチを掲げ、具体的には以下のような各項目を設定し、各事業ごとにその活動がどの課題にアプローチするものかを考えながら、活動内容を設定。

★子育て世代へのアプローチ	★青少年へのアプローチ	★シニア世代へのアプローチ
★社会的包摂を考えた人達へのアプローチ	★市民協働	★地域施設連携(コミュニティ)

地域コミュニティ形成・地域コモンズ形成に大切な課題ばかり。テーマは広範囲で複雑だが課題やテーマに沿って、様々な活動を展開。

2. 文化事業とも連動する活動

●エデュケーション&コミュニティ・プログラムとの関連事業

文化事業の、エデュケーション&コミュニティでは、鑑賞型事業や教育型事業に加えて、地域とのつながりを考える「コミュニティ」プログラムを提供。ファミリーや幼児向けのは、「二つの顔」がともに互いの力を発揮し、連携しあう事業活動。内容を常に吟味精査し、新たに何を提供し、何を感じてもらうかを考える。

◎令和2年(2020年)の主要な企画

企画・対象		目的・概要	時期等
オープンデー	ファミリー	ホールを全館使用して楽しめるイベント。地域の方にフィリアホールにお越しいただく企画。	8月
ファミリーコンサート	ファミリー	夏とクリスマスのファミリーコンサート。企画の練り直し、新しい形を模索。	夏・冬
プチコンサート	乳児・お母さん	乳幼児とお母さんが楽しめ、お母さんに「ひと時の癒し」を届ける。場所選定や広報も考えて実施	春・秋
ワークショップ	ファミリー	対象や内容を考え、「気軽に音楽に触れあう」趣旨にした企画、地域施設との連携模索。	春・秋
ジュニア合唱団	子ども達	歌の楽しさを学び、コミュニケーションを身に付け、課題をもった子達の居場所機能をめざす。	通年練習

3. 地域コミュニティ形成への活動

●市民協働型事業の推進

地域コミュニティ形成の中心となる、「市民協働」型の事業。2年間の様々な事業では、区民の力を結集した企画を実施。更なる発展拡大には、アーティストとの連携、施設による費用負担など、企画する側からも積極的な提案を行っていききたい。

◎令和2年(2020年)の主要な企画

区民企画公募・選定・協力	地域課題と音楽を軸とした区民による事業企画募集。実施全面的サポート。年間2本程度。	通年
チャリティーコンサート	あおばカノン 区民有志やケアプラザと連携企画。収益はチャリティー。年1回想定	3月

●地域連携・アウトリーチ活動

地域に音楽を届けたいという趣旨のもと、地域の様々な施設や団体と連携協力。今年度も、新しい施設との連携を模索し、ネットワーク拡大、事業協力の内容などを模索。

◎令和2年(2020年)の主要な企画

STスポットアウトリーチ	STスポット事業。学校と連携しアーティストを呼んで、音楽の楽しさや素晴らしさを学んでもらう。
地域施設アウトリーチ	フィリアホール以外の施設での演奏会企画。区内施設連携し、多くの場所での企画検討。
ケアプラザ連携	地域のケアプラザ全施設にコンサートを提供できる基盤作り。社会福祉協議会や区役所とも連携。
地区センター連携	地区センターやコミュニティハウス等と連携、コンサートを開催。地域の音楽家や若手音楽家とも連携。

●市民協働・人材育成に向けた活動

地域の人達との連携が充実。その地域の人材を育成していくことも重要な役割だと意識。

区民サポートの募集・活動	区民サポーター通年募集、ホールの仕事をお手伝い。接客・マナー研修も実施し、ノウハウ取得へ
区民企画での人材育成	区民企画者に、必要な専門的知識やノウハウの研修、地域で活動できる人材育成を。
若手音楽家の育成	文化事業「若手育成企画」とともに、自身で企画プロデュース、集客などの実践を学ぶ機会に

●市民主体の活動への支援協力サポート

ホール利用申請から本番まで、施設利用責任者、舞台技術スタッフが、詳細な相談・アドバイスを実行。技術的提案、舞台設営の方法や進行管理での相談も。

チケット委託公演の情報(内容、発売日等)を、WebサイトやSNS(Twitter等)で公開し、紙媒体の「イベントカレンダー」等も含めて、利用をバックアップ。

地域の文化活動を行う人材育成・支援活動として、市民団体や地域の方々にとっての相談窓口と人材の育成拠点として具体的な事業項目の検討。

コミュニティプログラムやアウトリーチ活動などで、協力していただける市民団体や音楽家と連携協働して、活動の場の提供だけでなく、地域とのつながりを持てる活動を支援。

## 『令和2年度の地域事業総括』

### 1. 青葉区民文化センターの顔としての活動:全体総括

青葉区民文化センターの顔も、コロナ禍の影響でほとんど活動はできませんでした。地域コーディネーターの持つバイタリティをしても、フィリアでも、地域施設でも、休止、自粛などにより、活動は大きく制限されました。下期に入り、冬のファミリーコンサートは実施、年度末に「何かやれることを」とプチコンサートを実施。さらに「地域に届け」をスローガンにワークショップの変形でロビーコンサートを実施しました。一方で、若手音楽家たちを支援すべく補助金申請等に協力、動画作成などに施設を貸し出しています。ケアプラザの企画で、自分の施設では狭くてできない企画をホワイエでやる企画、そしてチャリティーコンサートあおばカノンでは、初のライブ配信を実施しています。十分ではない中で、やれることを地域の中で実現するための努力と試行錯誤を続けた一年でした。

### 2. エデュケーション&コミュニティープログラムでの実践

#### ●オープンデーと夏のファミリーコンサート

夏のオープンデー・ファミリーコンサートは、準備期間が無く中止。冬のクリスマスコンサートは、内容を変更し、少人数編成の出演者と入場制限により開催。年間通して初の子供向けコンサートが開催できました。

#### ●プチコンサート・ワークショップ系

プチコンサートは年度3月に1回。2部に分け、ホワイエでの感染対策は徹底し、各々60名程度に限定して開催しました。

若手音楽家たちの活動に対し動画配信等を支援し、下期からフィリアのHPにもリンクさせています。

ワークショップの開催はできませんでしたが、3月に形を変えて、ホワイエにて「地域に届けロビーコンサート」を開催。コロナ禍でも地域に音楽を届けたいという趣旨で、コロナで活動の減った若手音楽家を起用して、56名の方のご来場でした。

#### ●ジュニア合唱団の活動

ジュニア合唱団の活動も、上期は中止。9月頃から状況を見ながら再開し、人数限定やポイントを動画配信するなどの工夫により、何とか練習を継続しています。3月のコンサートは関係者のみの発表会形式に縮小して開催しました。団員のお一人が、発表会の直前に急死されるという悲しいお知らせもありました。目標にもあるいろいろな子供たちの居場所づくりとしてのジュニア合唱団尾活動が必要だと思いを強くしました。

### 3. 市民協働・人材育成

#### ●第2期新企画「区民企画募集と実施」

応募された企画3本のうち、2本が次年度への繰り越しとなりました。

唯一昨年に続き2回目となる愉音さんによるバリアフリーコンサートは、3回の公演で合計100名程度の参加者がありました。

愉音さんは、独自に区役所の助成金を獲得し、毎月ホールでのバリアフリーコンサートを開催しており、区民企画から発展自立して、新たな地域の活動を展開されています。

次年度繰越企画も障がい者がテーマの企画と、働く人たちの音楽をテーマとした企画でした。次年度無事開催を期待します。

#### ●区民サポーターの活動充実

総勢26名が登録されていますが、今年度はすべての活動を休止しています。

#### ●若手音楽家の育成

「若手音楽家育成」として「若手インキュベーション」というタイトルでの企画は実施できませんでした。ただ昨年参加者とプチコンサート出演者の2団体が市の「芸術文化緊急支援プログラム」に応募することになり、そのサポート協力として幼児向けコンサートの開催、動画配信用の録画等に協力した他、補助金申請書類の相談やアドバイスも行いました。

### 4. 地域とつながる青葉区民文化センターの実践

#### ●STスポット連携での学校訪問

今年度は3校に行ってきました。1校は個別支援級の児童対象に3日間に分けての実施でした。他2校もコロナ禍での開催が危ぶまれていましたが、11月と12月に無事訪問ができました。事前の打合せ段階から、演奏家にも積極的に協力していただきました。

#### ●地域の施設や団体との共同事業の実現

地区センターやケアプラザとの連携では、上期はなかなか実施ができませんでしたが、夏以降、少しづつ開催しています。実際に施設でのコンサート開催と共に、動画配信による実施も行っています。

ケアプラザは、1件が延期、1件が9月に開催しました。連携企画として青葉台ケアプラザの企画をホワイエで開催。ケアプラザでは開錠傘狭くて開催を検討していた所相談があり、ホワイエでの開催となりました。この企画では、コロナ禍の4月以降に生まれた子供達向けの企画で、終了時には、ケアプラザや保育園の担当が直接お母さん方にお話を聞く時間があり、外に出られずに不安だったお母さん方にとても心強い対応ができた企画でした。

地区センターとは4件実施し、うち2件は動画配信によるものです。横浜市民施設協会とのコラボ企画で、フィリアで撮影した動画を当日配信する形で実施しています。コミュニティーハウスでのコンサートは中止になりました。またコロナにより課外活動ができない学校からの要請でフィリアホールの見学を企画しましたが、残念ながら2月の開催は中止になりました。

#### ●あおば支援学校との連携事業開始

今年度開校したあおば支援学校との連携事業を開始。高等部を対象に「ホール見学」を実施。さらに11月の開校式に向け高等部の方への簡単な接客マナー研修を実施。開校式当日はその成果を見事に発揮していたと見学に行った担当は言っています。11月には、高等部2名の方の職場体験も受入ました。フィリアホールでのコンサートに小学生～高等部までの全てを対象に実施予定でしたが、残念ながら中止となりました。次年度も引き続き、様々な連携を模索していきます。

#### ●中学校の職業体験受入:今年度は、コロナ感染の影響で、すべての体験が実施されませんでした。

※地域事業の詳細は別紙2にて記載します。

(別紙2) 令和2年度(2020年)地域コミュニティ事業詳細報告

エデュケーション&コミュニティープログラム関係

●地域の子どもたち・ファミリー層に向けた活動

企画	時期等	
オープンデー	8/7	中止
ファミリーコンサート	8/8	中止
クリスマスコンサート	12/12	社会情勢に応じて開催の可否を慎重に検討予定

フィリアホールに来場する機会の少ない未就学児のお子様とファミリー層に向けた季節プログラム。夏休みとクリスマスにホールで3歳以上入場可の本格的クラシック・コンサートを開催のほか、劇場内を全面開放して各所の見学ができ、ワークショップ・ミニコンサート等も同時開催のお祭りイベント「オープンデー」も開催。オープンデーは0才から入場可能。

地域に届け！ロビーコンサート	3/18	多世代の方の音楽を楽しんでもらいます。出演：プリマステラ 56名
0歳からのキッズのための プチコンサート	6/4	中止
	3/18	1部 65名 2部 58名
	10/24	動画配信

ハワイエで開催の親子向けミニクラシックコンサート。どんな子でも受け入れる体制を整え地域の方にホールへ気軽に足を運んでもらえる工夫を。区民サポーターや子育て支援ボランティアの方や障がい児支援ボランティアにも協力を得て、地域子育て中の親子を見守る体制を整え、演奏家にも演奏曲目や演奏中の親子に対する関わり方へも配慮してもらっています。クラシック音楽へのはじめの一歩的な位置でのコンサート。

ジュニア合唱団	練習第2・4土曜日	今期は中止の予定でしたが、コロナ対応をしながら練習を9月26日より開始。ジュニア合唱団のつながりを絶やさない意味で練習ができるように伴奏や歌のポイントを動画で配信する。9月よりチームを分け練習。
	3/27	家族を招待しての発表会開催 73名

区民の企画から生まれた事業。青葉区に住む小学生から中学生を対象に、通年で合唱の練習をし3月にコンサート開催。区民の運営委員と講師を中心に活動、フィリアホールは事務局として運営し今年で7年目。地域活動として子ども達とボランティアコンサートを地域の公共施設に出向き演奏。

●市民協働促進に向けた活動

企画・対象	時期等	
区民企画公募・ 選定・協力実施	通年	「愉音」10月10日 開催 入場者数 95名
	通年	「おとのわ」次年度繰越
	通年	「クワイア チェーロ」次年度繰越

2021年度 区民企画募集開始

フィリアホールの音楽ホールの特性を活かし、音楽をツールとして青葉区における地域課題や社会課題解決につながる市民活動の活性化をサポートしていく取組。子育て・シニア世代・福祉関係・人材発掘等をテーマに、地域貢献への意欲を活かす区民企画を募集し、開催に向けての支援や相談を受けながら、共に地域に貢献できる場を積極的に創出。各施設や市民団体とも協働して音楽を通じて地域ネットワーク作りの提案の場づくりを推進。

地域連携事業「あおばカノン」	2/20	コンサートをホールと地域の施設と繋ぎ生配信	1部105名・2部120名
	10月より毎月	今まで出演してくれた団体・演奏家・福祉作業所・応援団の紹介動画をYouTube「あおばカノン」で配信中	

「青葉区を音楽で繋がる」をコンセプトに、フィリアホールと地域ケアプラザがこの企画をスタートし、現在は地域の住民が代表になり、福祉作業所・音楽活動団体など様々な団体と連携しながらチャリティーコンサートを開催。この企画を通して団体や個人が繋がることで、その後の活動に活かせるハブ的な成果を求めた企画として実施。

●若手・地域音楽家育成支援

企画・対象	時期等	
若手音楽家の育成	通年	昨年度実施した「インキュベーション・プログラム」を継続予定だったが、新型コロナ関連対応で日程確保ができず中断。横浜市の「芸術文化緊急支援プログラム」に申請したアーティストに対する施設利用サポートという形を今後予定。
櫻田はるか	10月	横浜市の芸術文化緊急支援プログラム応募へのサポート 子ども向け事業45人×4回公演
おとみつく	8月	・芸術創造特別支援事業リーディング・プログラム「YokohamArtLife(ヨコハマトライブ)」応募へのサポート ・文化芸術活動応援プロジェクト応募へのサポート

演奏・活動機会の少ない若手演奏家を積極的に登用し、演奏家自身による企画の実現のサポートなどを行う企画。以前から主催公演で定期的に出演を依頼するほか、2019年度から開始した「インキュベーション・プログラム」などでは若手演奏家自身が携わる企画を公募し、広報・施設利用のサポートなどにより、演奏家の積極的な活動の場を提供することを目的としています。

●市民協働・人材育成に向けた活動

地域事業を展開するには、地域の人達との連携が必須。その地域の人財を育成していくことも重要な役割。

企画・対象	時期等	
区民サポーター 募集・活動支援	通年	コロナウイルス感染対策としてど今期はお断りする
地域デビューのきっかけや、地域の方の活動を目的に、フィリアホールのサポーターとして自主事業の仕事等にボランティアとして活動してもらっています。コンサートの受付やお客様への接客、プログラムヘチラシを挟み込む作業など、ホールに関わる仕事を主にお願いしています。マナー研修を開催しサポーターとしてのスキルアップも行っています。		

●地域連携、地域コミュニティに向けた活動

<横浜市芸術文化教育プラットホーム 学校訪問事業>

企画・対象		
STスポットアウトリーチ	学校側とSTスポットとの打合せ後に開催する学校が決定。	
学校と相談しながら子ども達に効果的な音楽プログラムを提案しています。STスポットが事務局となり横浜市芸術文化振興財団、横浜市文化観光局、横浜市教育委員会と連携し実施している事業です。		
さつきが丘小学校	9月10日 11月6日・25日	個別支援級 1年生から6年生 計7名 出演者「おとみつく」
山内小学校	12月14日	サクソカルテット
美しが丘東小学校	11月10日	はっぴーたん 打楽器奏者

<地域施設連携・コーディネート事業>

連携施設	時期等	対象施設	概要
地域ケアプラザ	延期	すすき野地域ケアプラザ	山本美樹子ヴァイオリン 岩下真麻ピアノ
地域ケアプラザ	9/23	たまプラーザ地域ケアプラザ	しましまのおんがくたい
地域施設・団体連携事業	11/16	青葉台地域ケアプラザ その他	のびのび広場
地区センター連携	3/6	美しが丘西地区センター	山本美樹子ヴァイオリン 岩下真麻ピアノ
	3/14	奈良地区センター	スプリングコンサート プリマ ステラ (マリンバデュオ)
	8月	山内地区センター	動画配信 炭崎友絵 オーボエ ピアノ
	12/11	山内地区センター	Jose 動画配信・コンサート
コミュニティハウス	中止	みたけ台コミュニティー	コンサート 木管三重奏えみり

地域ケアプラザ、地区センター、コミュニティハウスと連携し、演奏家を各施設に招いて地域の方へ音楽を届けています。シニアの方や、子育て中の親子など、ホールに来れない方、またクラシック音楽は敷居が高いという方にも、音楽を気軽に聴いていただく場を作っていきます。 ※各館の判断に任せて今後の開催内容は決定していきます。

みたけ台小学校	2/16	ホール探検ツアー(中止)	個別支援級18名。 ホールの探検、舞台上で演奏
あおば支援学校	10/8	ホール見学	高等部 24名にホール探検として見学してもらいます
	10/29	生徒へのマナー研修	高等部 24名にマナー研修をうけてもらいます
	11/1	あおば支援学校開校式	マナー研修の成果を見学
	11/11	職業体験	高等部 2名
	3/4	コンサート「しましまのおんがくたい」	小学低学年 (中止)
	3/16	コンサート「おとみつく」	小・中・高学生(中止)

今年度開校したあおば支援学校との連携事業を予定。その他小学校の支援学級の障がいをもつ子ども達に音楽を届けると共に、音楽ホールの仕事内容を子ども個々の特徴に合わせて体験する機会を作ります。子ども達が社会と関わる場を、フィリアホールが持つネットワークを活かして提供します。

## 令和2年度 施設運営の基本方針

多くの方々にご利用いただき、皆様に喜んでいただける施設であり続けることを目指す。条例他の規程や利用要綱に則り、適正に運営することを前提に、公正公平な利用確保のため、申請・手続き、ご利用本番まで、一定のルールをお守りいただくようお願いしていく。

### 1. 適正な施設運営管理

#### ◎ 公平公正な施設利用の原則・ルールの徹底

- 公平公正な施設運営。「利用の手引き」や各種「利用案内」も、内容の改編加筆修正を繰り返し、利用者へ配布。ルールを守って、皆様が気持ちよくご利用いただける施設運営を行う。
- 適切な利用料金と利用区分の設定による運営。料金納入や返還等の基本事項は利用要綱に明記、利用者に適宜案内。
- 利用料金割引サービスとして、一定条件の下でリハーサル利用、練習利用される方への30%割引実施。
- 利用状況の適正把握のため、利用時の利用人数を報告してもらう。ホールでは入場者数も把握して報告励行。

### 2. よりご利用いただくための運営努力

#### ◎ 稼働促進策

- 諸室の予約状況の広報徹底：HPから空室状況が確認できるよう変更。空室状況をロビー等に週単位で掲示
- 利用できるジャンル形態の拡大へ、リハーサル室での朗読会など利用できるジャンル形態に柔軟に対応し、区民企画や地域連携事業での活用幅を拡充。
- 抽選後のホール空き日を利用した練習利用促進。ピアニストの夢・カゲレンの企画継続。
- 「撮影・録音・学校法人」を対象に一次利用での制限緩和。一次利用から、本番利用や恒常的録音利用へ繋げる。
- 夕夜間利用促進策としての定期利用施策継続。非営利の地域団体活動支援策とも連動

### 3. ご利用満足度向上のために

#### ◎ 意見要望ヒアリングとその後のPDCAサイクル確立、ご利用者の声を踏まえ、満足度向上に取り組む。

##### ○ ご意見ご要望の収集とPDCA

ご利用状況(人数等)の報告用紙の裏面に、自由記入欄を設け、ご意見ご要望を任意提出していただきます。収集したご意見ご要望は、定期的に内容を検討し、対応方針について検討の上、回答を掲示。四半期ごとに収集したご意見ご要望をモニタリング報告。

#### ◎ 附帯設備や備品の充実

- サービス充実を求め、備品・附帯設備の購入等検討。照明・音響設備でのご希望に対応できる備品の検討。また利用者の声要望をお聞きし、リハーサル室等の備品・附帯設備の購入も検討。

#### ◎ ご利用者へのサポートの充実

- 利用申請から本番まで、担当スタッフによるサポート体制を検証。フィリアホールでの本番を、より上質なものに仕上げるような提案を実行。
- 利用団体への支援策  
市民団体の活動支援は、HP上の公演カレンダーでの団体やチラシへのリンクやイベントカレンダーでの広報などを実施。どのような内容が「支援策」となり、地域活動を応援できるかを考え、出来るものを実現させる。

### 4. 広報・プロモーション活動、情報提供

「既存利用者」と「新規利用者」の2つの軸を持って、広報・プロモーション活動を実施す。HPやSNSの利用を強化してまいります。SNSを普段利用しない層に対しても情報が行き渡るよう、紙媒体(新聞・チラシ・地域情報誌・ダイレクトメール・イベントカレンダー・会報誌)も充実させます。

#### ◎ 広報・プロモーション活動の新たな試み

- 会報誌の年4回発行。区内の各施設等へ配布。公演への興味喚起、音楽への興味喚起、施設利用や地域事業の情報を掲載。認知度向上、来場促進。
- 全面リニューアルしたHPの更なる充実、費用対効果の高い改編策を検討実施。公演情報やチケット販売の判りやすさ工夫。施設利用案内、諸室予約状況広報など利用者の利便性向上・利用促進施設の告知、券売情報の発信、来場促進等のためのHP活用、情報発信のツール定着確立。
- 公演情報に特化したイベントカレンダーは、常にブラッシュアップ。  
チケット予約システムは徐々に利用増。Web先行予約での座席指定可能、セット券や学生券の24時間Web予約。改善部分の告知徹底をし、わかりにくいWeb予約の方法の周知徹底やご案内の徹底により利用促進を向上。  
メールマガジンやTwitterの活用は、その効果が拡大。頻度内容を常に検証し、充実を図る。Facebook等の他のSNS利用拡大も、再度検討して一定の方向性を定める。SNS活用においては、人権侵害防止や個人情報保護等に細心の注意を払い適切な運用を実施。

### 5. 年間利用率目標

ホール	74%	自主事業の充実と、地域連携事業での活用、空き枠利用のを促進す。 現在、平均稼働率は90%近くであり、ご利用者様から高い評価を頂けております。今年度は、リハーサル室・練習室なども、自主事業での効果的な利用を高める等、より安定した諸室の利用率を目指す様々な取組みを行ってまいります。
リハーサル室	88%	
練習室1	92%	
練習室2	95%	
練習室3	93%	

『令和2年度の施設運営に関する総括』

令和2年(2020年)の施設運営は、コロナ感染対策に連動し、休館・利用制限・時間短縮、利用時の各種感染防止対策等の対応で年間終始しました。休館明けの利用再開にあたって、早めに対策の方針を決定したことが、年間通して大きな混乱やクレーム発生につながらなかったと思います。各ガイドライン毎にご利用者には逐次案内をし、利用自粛要請も行い、3密回避・換気励行なども、利用ごとに注意喚起するなどの徹底を実施しています。利用再開後の稼働は復活が早く、下期にはほぼ例年並みの稼働に戻っています。フィリアのご利用者の方の練習再開ができたことを喜ぶ顔が印象的な年になりました。

◎ 公平公正な施設利用の原則・ルールの徹底

- 条例・システムの順守は当然として、感染拡大ガイドラインに沿って、利用申し込み、利用自粛、利用料の返金など、時期時期に変化する対応を問題なく遂行しています。説明を十分に行い、公平性を欠くことの無いよう心がけています。膨大な量の返金手続きにも問題なく対応ができています。

◎ 稼働促進策＝令和2年度は、稼働制限等への対応

- 休館にあたっては、全利用者に電話連絡。利用再開後も、ガイドラインに沿った利用制限や遵守事項を逐一説明し、利用者の安全確保と施設の安全確保を徹底しました。  
ホール客席への使用不可表示の設置、リハ室での最大利用者を実際に測定しての人数設定、舞台上での適正人数の検証等、利用人数制限は徹底をしています。
- リハーサル室・練習室ロビーへの消毒液設置、利用者に消毒剤等を渡し、利用後の消毒依頼、ホール利用者にも入場時の消毒に加え、利用後ホール内容客席消毒も依頼。
- 直前キャンセルに対して空室対策も模索しましたが、感染状況が厳しい中、「空室」のままにせざるを得ませんでした。
- 下期は、ホールでのピアニストの夢等は復活させ、新たにスタインウェイを使用しての開催も実施。料金は増額しましたが、すぐに予約が埋まり、好評な企画となっています。
- 動画配信用の録音録画利用には積極的に対応し、補助金申請等にも協力ができています。年度末にはフィリアからのライブ配信が可能となる設備も設置しました。

◎ 意見要望ヒアリングとその後のPDCAサイクル確立

- 利用状況報告書の裏面での意見収集は、実施していますが、今年度はほとんど記入がありませんでした。コロナ禍でも、利用ができる事への感謝はありますが、感染対策等へのご意見ご要望は特に出していません。

◎ 広報・プロモーション活動の新たな試み

- イベントカレンダーは、コロナ禍の中でも定期発行は続けました。しかし、実際は中止の公演が相次ぎました。
- 会報誌は、公演情報の未定、利用状況も未定の中では、事前の編集が不可能となり、今年度は発行見送りにしました。
- HPの活用では、ガイドラインの掲示・利用状況の告知が毎月更新、公演の中止延期とそれに伴うチケット扱い告知もほぼ毎月更新。「詳しくはHPをご覧ください」というSNSも頻繁に出ています。こうした緊急時にはネット環境による告知が威力を発揮したと思います。

コロナ禍で、HPからのこまめな情報発信、詳細情報の提供の必要性が高まってくる一方、ネット環境に不慣れな方への情報提供の方法や紙媒体の有効活用は必要です。郵送での案内文発送、電話によるアプローチを行いました。

- チケット予約も、上期は売れる物がなく、下期も客数制限による販売席数減などの対応のため、WEBでの座席指定、セット券購入、学生券購入などの対応は停止しました。
- Twitter発信は、公演の変動を逐次発信、更に利用制限等の情報も発信しました。Facebook等の新規媒体の検討はできませんでした。
- FreeWifiの利用促進と動画配信やオンラインでの練習等への利用拡大を見据えて、新たにアクセスポイントの増加と対応容量の増加を行いました。

年間稼働率実績

	目標	実績	(参)下期	コメント(左記参考の2月まで実績が実態に近い)
ホール	74%	47.8%	70.0%	下期は、自主の中止を除くと市民利用の利用キャンセルは減
リハーサル室	88%	59.1%	78.0%	夜間制限を除くと、昼間利用はほぼフル稼働までに復活。
練習室1	92%	62.0%	79.5%	夜間制限を除くと、昼間利用はほぼフル稼働までに復活。
練習室2	95%	62.0%	82.7%	夜間制限を除くと、昼間利用はほぼフル稼働までに復活。
練習室3	93%	59.7%	81.4%	夜間制限を除くと、昼間利用はほぼフル稼働までに復活。

令和2年度 施設管理への基本方針

施設及び設備の維持保全及び管理

「総合的なマネジメント力」を発揮し、清掃・衛生管理・保守点検などの業務を的確・スムーズに行い、利用者に安全・安心でホスピタリティあふれた快適な施設空間を提供。不具合箇所の適宜必要な修繕、経年劣化に対処し、運営上支障のある部分の修繕、取替を実施。支出は適切な管理の下、適切費用で効果が上がる方法を模索。2022年度予定の天井脱落対策工事に関し、今年度から基本設計を開始。併せて、設備機構の調査、改修改善内容の検討、同時期実施していく計画の素案作成。

1. 日常点検と予防保全

予防保全を実現するために、日々使用時の点検(日常点検)と定期的な専門会社による点検(定期点検)を確実に実施し、点検内容を確認・検証することで修繕の必要性を判断。

◎舞台設備保守

年間定期保守計画(別表2参照)を作成し、各所機材の定期保守を実施。定期保守での不具合や修繕箇所等は、適宜内容を判断し必要な対応を実行。経年劣化が進み、不具合発生リスクが増加、緊急対応は適宜実施し、メンテナンスを強化

◎小破修繕の考え方

経年劣化部分の洗い出し状況調査実施。2022年天井工事実施に合わせ実施する基本計画策定。費用を有効的に使用し「安全快適」な施設環境を維持。比較的高額になっており、全面交換が必要な場合は新規リース等も視野に入れ対応。

◎光熱水費について

「光熱水費」については、LED化による電気使用量の削減。電気料金単価も変動による使用量以外の要素で費用変動傾向。施設側では、今後もLED化や水道設備での節水対応など使用量削減に向け、各種対応を実施。

2. 清掃、美観管理業務の方針

美観を維持し利用者に不快感を与えないようにする。適宜必要な薬剤や清掃用具を適切に使用して清掃を実施。

3. 備品管理

備品台帳により、備品及びリース品を管理。ホール備品の貸出及び収納の管理を徹底。利用者への貸出返還の管理徹底。

4. 防火防災・防犯への取組み

● 非常時対応マニュアルの整備

共同防火管理体制下、緊急時は所定の指示に基づき行動。青葉区民文化センターとしての「非常時対応マニュアル」を整備。防犯対策については、ビル警備保安体制との連携を密にし、適宜適切な対応を心がけます。

5. 運営組織の構造：少数精鋭による総合力を発揮する人材の配置

● 少数精鋭の「フィリアスタッフ」

親切丁寧な対応体制最優先。事務所スタッフは責任者を含む8名、舞台スタッフは3名で構成。共同事業体各社のスタッフ全員で、一体感を生み、少数精鋭の「フィリアスタッフ」として機能し、ご利用者へのサービス向上、より良い接遇をする。

● スタッフを対象とした各種の研修・ミーティング

研修やミーティングにより課題の共有、能力のブラッシュアップ。ミーティングは適宜実施し、意見交換、課題解決策の模索等を。基本の接遇、クレーム対応、高齢者対応等のテーマに沿った研修を適宜実施し、区民サポーターにも参加してもらう。

『令和2年度 施設管理活動の総括』

1. 日常点検と予防保全・小破修繕

○ 日常点検、定期保守は適宜適切に実施し、経年劣化が進む諸々の問題にも適切に対応しています。

ITVモニター・音響室録音装置等の経年劣化が目立ち、結果的には交換修理での対応を行いました。

○ 小破修繕での対応

今年度修繕は、設備機器類の修理が多発。電気水道の法定のメーター更新は当初想定に漏れておりました。オーケストラ等の利用が無い状況下で、オケ用の舞台椅子の座面の貼替を実施しました。仕込み末には、動画配信等の環境整備のためのLANケーブル敷設。総額は予算を大幅に超過しましたが、光熱水費の減少分を当て管理費内では予算内に収まるようにしました。

※定期保守詳細は別紙3・修繕詳細報告は別紙4・光熱費詳細は別紙5にてまとめ

2. 清掃、美観管理業務の方針

日常清掃は委託業者と連携して適宜実施しています。代表企業による、年1回清掃のインスペクションはコロナ感染拡大のため中止にしました。日常清掃のアドバイスや必要な薬剤等の指摘を行い、更なる美化促進に努めています。コロナ感染対応として日常の清掃の中でもアルコール消毒を実施してくれています。

3. 備品管理

○ 備品台帳は適切に管理しています「備品」の内容精査、消耗備品に該当する内容の削除検討などを行いました。確認できた備品にはシールを貼付しました。

4. 防火防災・防犯への取組み

○ 大規模災害の発生はなく、安全な施設環境を維持することができました。多発する地震にも適切に対応できています。

○ 防犯対応は、ビル警備との連携を強化しており、不審者等の対応も連携しています。

5. 運営組織：少数精鋭で総合力を発揮する人材の配置

○ 責任者を含む8名、舞台スタッフは基本3名。共同事業体各社間の連携はさらに強化されており、担当間での連絡調整は格段に行っています。少数精鋭の一体感のある業務遂行を心がけています。

○ カウンタースタッフやレセプションの研修は、コロナ禍のため、集まった研修は実施しませんでした。一方、コロナ対応としての日常対応の方法、利用施設の消毒、公演時の入館方法など、すべての業務に渡り、「消毒・検温・換気励行・3密対策」などのマニュアルを見直し、実行しています。

区民サポーターを対象とした研修は、コロナ禍のため実施していません。



(別紙3) 令和元年度(2020年)施設管理・施設運営実施詳細

1. 維持管理年間実施状況

NO	実施年月日	実施内容	業者名	対応箇所	点検結果等
1	4月23日	ヤマハピアノ調律	ヤマハ	リハーサル室・楽屋3	良好
2	5月18日	ヤマハピアノ調律	ヤマハ	リハーサル室・練習室2・3	良好
3	5月23日	ヤマハピアノ調律	ヤマハ	ホールグランドピアノ	良好
4	5月23日	舞台設備定期点検	三精	ホール	特になし
5	6月24日	ヤマハピアノ調律	ヤマハ	リハーサル室・楽屋3	良好
6	7月21日	ヤマハピアノ調律	ヤマハ	リハーサル室・練習室2・3	良好
7	8月17日	ヤマハピアノ定期保守	ヤマハ	ホールグランドピアノ・リハーサル室・楽屋3	定期保守特になし・良好
8	9月1日	舞台照明定期点検	東芝	ホール	特になし
9	9月2日	舞台照明定期点検	剣プロダクション	ホール	特になし
10	9月14日	ヤマハピアノ調律	ヤマハ	リハーサル室	良好
11	9月15日	舞台設備定期点検	三精	ホール	特になし
12	9月15日	ヤマハピアノ定期保守	ヤマハ	練習室2・3	定期保守特になし・良好
13	10月12日	ヤマハピアノ調律	ヤマハ	リハーサル室・楽屋3	良好
14	10月13日	スタインウェイ1号	松尾楽器	定期保守・調律	良好
15	11月16日	ヤマハピアノ調律	ヤマハ	ホールグランドピアノ	良好
16	11月17日	ヤマハピアノ調律	ヤマハ	リハーサル室・練習室2・3	良好
17	12月7日	ヤマハピアノ調律	ヤマハ	リハーサル室・楽屋3	良好
18	1月12日	ヤマハピアノ調律	ヤマハ	練習室2・3	良好
19	1月12日	舞台設備定期点検	三精	ホール	特になし
20	1月26日	スタインウェイ2号	松尾楽器	定期保守・調律	良好
21	2月2日	舞台音響定期点検	ヤマハサウンド	ホール	特になし
22	2月9日	ヤマハピアノ調律	ヤマハ	リハーサル室・楽屋3	良好
23	2月9日	ヤマハピアノ調律	ヤマハ	ホールグランドピアノ	良好
24	2月9日	舞台照明定期点検	東芝	ホール	特になし
25	2月10日	舞台照明定期点検	剣プロダクション	ホール	特になし
26	3月15日	ヤマハピアノ調律	ヤマハ	練習室2・3	良好

※1:スタインウェイピアノは、使用時に調律必須(施設利用者負担)・自主は管理者負担

※ヤマハグランドピアノは、使用時の調律は任意。管理者にて、定期保守以外に3回調律実施

2. 清掃美化・環境管理 年間実施状況

区分	実施内容	実施状況	対応箇所	点検結果等
日常	日常清掃業務	毎日	全室	
定期	床洗浄・ワックス塗布	1回/3ヶ月	舞台袖・楽屋・リハ室等	良好
	カーペット洗浄	1回/年	ホワイエ・楽屋・練習室	一部経年劣化
	窓ガラス(内面)	6回/年	ホワイエ	良好
環境管理	ホール環境測定	4回/年	全室の空調・温度測定	良好
	照度測定	2回/年	ホール内照度測定	良好

※ビル法定点検・測定及び防火対象物点検等はビル側にて実施。

3. 研修・ミーティング等 実施状況

研修名	主催者	実施日	対象者( )内は参加者数	概要
消防訓練	東急スクエア	6月・11月	事務所勤務者 (1)	書面配布
災害時安否確認訓練(mail)	東急コミュニティー	3ヵ月毎	事務所・カウンタースタッフ (15)	メールでの安否確認
コンプライアンス教育研修(テキスト)	東急コミュニティー	毎月	事務所・カウンタースタッフ (15)	社内資料配布
個人情報保護研修	東急コミュニティー	6月・11月	事務所勤務者	eラーニング・テキスト形式

## (別紙4)令和2年度(2020年) 工事・修繕報告書

施設名 青葉区民文化センター

金額は税別

NO	工事・修繕期間	工事・修繕内容	金額(円)	業者名
1	5/29~6/3	楽屋女子トイレ床タイル補修工事	770,000	東急リニューアル
2	9月16日	ホワイエ系統空調機集塵機修理	620,000	東急リニューアル
3	10月6日	舞台オーケストラ椅子座面貼替 70脚	623,200	KSS株式会社
4	10月6日	舞台オーケストラ椅子背面貼替 70脚	808,000	KSS株式会社
5	1月20日	冷温水配管ストレーナー清掃	160,000	東急ファシリティ
6	1月25日	モニターTV交換	35,000	ヤマハサウンドシステム
7	2月20日	水道メーター更新	491,800	東急ファシリティ
8	2月20日	電力メーター更新	626,200	東急ファシリティ
9	2月1日	ピアノ内異物除去	5,000	松尾楽器
10	3月6日	照明卓無停電電源交換	210,400	東芝ライテック
11	3月17日	LAN配線	675,000	イツコム・ジャック
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
	年間合計		5,024,600	

## (別紙5) 令和2年度(2020年) 光熱水使用量・使用料

施設名 青葉区民文化センター

上段:実績 下段:前年比	使用量		使用料(円)				
	電気(kwh)	水道(m <sup>3</sup> )	電気	単価	水道	単価	計
4月	10,123	48	234,448	23.16	36,926	769.29	271,374
前年比	44%	51%	48%	107%	49%	96%	48%
5月	9,153	47	208,779	22.80	33,941	722.16	242,720
前年比	29%	52%	32%	110%	48%	92%	33%
6月	22,406	56	449,464	20.06	39,879	712.13	489,343
前年比	67%	53%	66%	98%	51%	96%	64%
7月	29,087	62	594,829	20.45	44,764	722.0	639,593
前年比	69%	57%	68%	98%	54%	96%	67%
8月	46,014	73	913,838	19.86	51,197	701.3	965,035
前年比	92%	66%	90%	97%	65%	99%	88%
9月	33,376	75	655,388	20	50,339	671.2	705,727
前年比	78%	72%	74%	95%	68%	94%	74%
上期	150,159	361	3,056,746	21.00	257,046	716.35	3,313,792
前年比	67.5%	58.7%	66.3%	101%	55.8%	95%	65.3%
10月	27,539	85	507,268	18	63,451	746.5	570,719
前年比	92%	80%	85%	92%	84%	105%	85%
11月	26,888	88	495,545	18.4	66,433	754.9	561,978
前年比	115%	55%	104%	90%	54%	98%	94%
12月	34,328	92	614,127	17.9	72,215	785.0	686,342
前年比	127%	84%	111%	87%	83%	99%	107%
1月	31,661	72	569,898	18.0	57,762	802.3	627,660
前年比	116%	85%	101%	87%	84%	100%	99%
2月	30,233	78	562,031	18.6	61,696	791.0	623,727
前年比	122%	83%	108%	88%	82%	99%	105%
3月	29,599	72	538,109	18.2	56,805	789.0	594,914
前年比	224%	131%	197%	88%	130%	99%	188%
第三四半期	88,755	265	1,616,940	18.25	202,099	762.12	1,819,039
	111%	70%	99%	90%	71%	101%	95%
第四四半期	91,493	222	1,670,038	18	176,263	794	1,846,301
	140%	95%	123%	88%	94%	99%	120%
下期	180,248	487	3,286,978	18.25	378,362	778.09	3,665,340
	124.0%	79.8%	110.2%	89%	80.0%	100%	106.0%
計	330,407	848	6,343,724	19.62	635,408	747.22	6,979,132
前年比	89.8%	69.2%	83.5%	95.0%	68.1%	97.7%	81.8%